みんなのひろば

▲子どもたちがヨーヨー釣りやビート板渡りなどのアトラクションに次々と挑戦した『市民プール祭り』。夏の暑さも吹き飛ぶイベントとなりました。　8月8日㈭／北野公園市民プール
（撮影：市民カメラマン・津田資雄）

▲竹をやすりで削って、自分だけの竹とんぼを工作した『親子竹とんぼつくり教室』。完成後は、公園で竹とんぼを飛ばして遊びました。子どもたちはコツをつかんでうまく飛ばせたようです。
7月27日㈯／椿峰コミュニティ会館別館
（撮影：市民カメラマン・木村清貴）

▲天候に恵まれた中行われた『岩崎上町夏祭り納涼大会』。当日は、浴衣で着飾った大勢の子どもたちが集まり、露店やゲーム大会を楽しみました。大人の方も盆踊りなどに参加し、広場は大変にぎわいました。
8月3日㈯／岩崎上町自治会館広場
（撮影：市民カメラマン・佐藤清一郎）

◀講習会や天体写真の展示などが行われた『第4回ところざわ星空フェスティバル』。大きな望遠鏡がいくつもあり、子どもたちは興味津々でのぞき込んでいました。本の読み聞かせやゲームコーナーもありました。
7月28日㈰／生涯学習推進センター
（撮影：市民カメラマン・三平資郎）

おうちで食べよう！所沢の学校給食 27 なすのミートグラタン

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介します。

◆今回の献立
バターロール
牛乳
なすのミートグラタン★
ツナサラダ
レタススープ

★なすのミートグラタン
材料（4人分）
・にんにく……1片
・にんじん……1／3本
・玉ねぎ……1／2個
・なす……2本
・油……小さじ1
・豚ひき肉……80g
・砂糖……小さじ1／2
・ケチャップ……大さじ2
・ウスターソース…小さじ1
・赤ワイン……大さじ1／2
・塩……少々
・こしょう……少々
Ⓐ
・油……大さじ1／2
・バター……小さじ1
・小麦粉……大さじ1・1／2
・牛乳……160cc
・塩……小さじ1／3
・こしょう……少々
・紙カップ4号……4個
・ピザ用チーズ……40g

作り方
①にんにく・にんじん・玉ねぎはみじん切りにする。
②なすは、1cm角に切り、水にさらしておく。
③鍋に油をひき、にんにく・豚ひき肉を炒める。
④肉に火が通ったら、にんじん・玉ねぎを加えよく炒め②のなすを入れさらに炒める。
⑤砂糖・ケチャップ・ウスターソース・赤ワインを加えミートソースを作り、塩・こしょうで味を調える。
⑥鍋にⒶの油・バターを入れ、バターが溶けたら小麦粉を加え、なめらかになるまで焦がさないように炒める。
⑦Ⓐの牛乳を温め、⑥の中に少しずつ加えホワイトルーを作り塩・こしょうで味を調える。
⑧紙カップに⑤のなす入りミートソースを入れ、その上に⑦のホワイトルー・ピザ用チーズを乗せ、チーズが溶け焼き色がつくまでオーブンまたはトースターで焼く。
⑨焼き色がついたら出来上がり。

ここがポイント　アレンジしてさらにおいしく
なすは、ミートソースの中にいれず、少し厚めに切り油で焼いてミートソース・なす・ミートソース・ホワイトルー・チーズと重ねて焼いてみてください。また、スライスしたじゃがいもを蒸して重ねるなどして、アレンジしてもおいしいです。
問い合わせ　保健給食課☎2998-9249 FAX2998-9167

はっぴっ野老（ところ）っ子

▲左から櫻田範稔（さくらだのりとし）さん、naoki（なおき）さん、大谷篤志（おおたにあつし）さん、山田裕介（やまだゆうすけ）さん、世良太一（せらたいち）さん

「頑張っていこうぜ」
JAY'S GARDEN（ジェイズガーデン）

7月24日に所沢から期待のボーカルグループがメジャーデビューを果たしました。

平成20年、もともと所沢を中心に活動していた音楽グループ「こころ（櫻田さん・世良さん）」「Living（リビング）（naokiさん・山田さん）」大谷さんの3組が、市内のレストランカフェ「JAY'S GARDEN」の閉店イベントの出演依頼をきっかけに意気投合。「音を合わせているうちに、5人で奏でる音楽の楽しさに気づき『閉店イベントを自分たちの結成イベントに変えてやろうぜ』となりグループ名もその店の名前を引き継ぎました」と結成のきっかけをリーダーの櫻田さんが語ってくれました。

結成後は、市内のイベントや関東各地のショッピングモールのインストアライブなどに数多く出演し、ファンの数を増やしていきました。そしてミューズや有名ライブハウス、赤坂BLITZ（ブリッツ）と徐々に歌うステージを大きくしながら、結成5年目の今年、ついに代表曲「頑張っていこうぜ」で見事メジャーデビューを果たしました。

これまでも、そしてこれからも多くの人たちを元気づけていく彼らの音楽性は「頑張っていこうぜ」や「キャラメル」に代表される等身大の歌詞と「メンバー同士、本当に仲が良いんですよ！」とギターのnaokiさん（市内出身）が語るように、結成以来変わらず、5人で奏でる音楽を楽しんでいることから来ているようでした。

今後の抱負について「西武ドームでのライブは、みんなの共通の夢ですが、所沢でのイベントなどもっともっと呼んでもらえるように頑張っていきたいです」と優しい声ながらも夢に向かう強いまなざしで世良さんが語ります。また、ムードメーカーの大谷さん（市内在住）が「連絡が取れなくなってしまった恩人やファンのみんながこれを読んでくれたらうれしいですね」とこれまで支えてくれた人たちへの感謝の意を込めて全国での活躍を約束してくれました。

作詞作曲担当の山田さん（市内出身）が最後に話してくれた「まだ先の話ですけど、いつかプロペ通りにライブハウスを作って、所沢を音楽の街にしていきたいです」というグループの活躍の先にある大きな夢は、所沢が音楽で盛り上がるためにもぜひ実現してほしいですね。

誰でもエッセイ

◆テーマ「敬老の日」◆

母と敬老の日

小手指　崔（さい）　伍逢（おほう）

私の母は敬老の日が嫌いなようだ。誕生日や母の日も嫌だと言う。何度かその訳を尋ねてみたものの、昔から好きじゃないのよねという返事ばかりだ。私はそんな母を、日々年を取るのが嫌だからそうしているのだ、本人が嫌なら別に構わなくていいと思っていた。

しかしそれは、私の勝手な思い込みだったということが最近分かった。母の机の引き出しに大切に保管されている物は、亡き父と私たち兄弟からの誕生日カードや一緒に撮ったスナップ写真、手渡した土産物。20年近くの間、母はいつもそれらを見ては小さな顔いっぱいにほほ笑みを浮かべていたのだ。

母は私たち兄弟に、余計な出費をさせないように、その日に合わせて余計に慌てないようにと、いつも気を遣ってくれていたのだ。我が子への愛がいつも親の胸にあることで、今私は幸せいっぱいな人間になっている。

米寿のお祝いに

若松町　谷口　うら子

所沢市民文化センターミューズでは、毎年7月と9月に高齢者演芸大会と敬老会があります。フラダンス、民謡踊りなどいろいろな催し物があり、この晴れの舞台に出演するため私も一生懸命稽古をしています。

今年米寿を迎え、踊りの先生にお祝いだから自分の好きな曲で踊りなさいと言われ、迷わず「浪花恋しぐれ」を選びました。私の足腰が弱いのを知っている先生は、立ち座る舞が多いから少し無理じゃないと言いましたが、私は頑張りました。そして、先生に協力していただいて一緒に踊ってもらうことになりました。

当日は娘や孫、友達も応援に来てくれて、うまく踊れるか心配でどきどきそわそわ。そして踊りが終わり、大きなミスもなく大拍手を一身に受け止め、達成感でいっぱいでした。88歳になった思い出深い1日でした。また、先生をはじめまわりのお友達に大変お世話になり、深く感謝いたしております。

▲谷口さん（左）と先生（右）

ところざわ 歴史まめ知識 39

所沢市域に関わる歴史的事項を50音順に紹介しています。今号は「よ」です。

横町（よこちょう）　中心市街地の、通称「銀座通り」はもともと江戸道として栄えた街道です。店が立ち並んだこの表通りから一本奥の道へ抜けるため、何本もの「横町」が発達しました。「海老屋横町」「鍋屋横町」「若葉横町」「山田屋横町」など、道に接した店を名の由来に持つものや、「薬王寺横町」「警察横町」など、道を抜けた先の建物の名を取るもの、あるいは「秋田新道」のように、開道に尽力した人の名を取ったものがありました。

▲警察横町（元町）

世直し一揆（よなおいっき）　幕末の慶応2年（1866）、武蔵国で延べ十数万人が参加した「武州（ぶしゅう）世直し一揆」が発生しました。開国による物価高騰への不満などが背景にあり、農民は「世直し」または「世均（よな）し」を掲げ、豪農や豪商に迫りました。要求を受けてお金や米などを提供した家は被害を免れ、拒んだ家は容赦ない「打ちこわし」を受けたといいます。資料により多少の違いはありますが、所沢の町場、北田新田（現在の北岩岡）、下安松村、城村、中富村など、市域の村で合わせて24軒が被害を受けました。幕府や藩が鎮圧に乗り出し、一揆は一週間ほどで収束しますが、後々まで「ぼっこし（打ちこわし）」の名を伝える強い記憶を残しました。

養蚕（ようさん）　養蚕は、他の栽培作物に比べて短期間で現金収入が得られるため、古くから盛んに行われてきた生業（なりわい）のひとつです。「春蚕（はるご）」・「夏蚕（なつご）」などのように呼ばれ、季節ごと、年に3回から多いときには5回ほども飼育されました。飼育が始まると一家総出の作業となり、母屋をはじめ納屋など、雨をしのげる空間はすべて蚕（かいこ）の飼育に使われ、子どもたちも桑摘みに追われました。戦後、養蚕農家はめっきり減少しましたが、現在でも数軒の家が、かつての主要産業『養蚕』の伝統を受け継いでいます。

問い合わせ　生涯学習推進センターふるさと研究グループ
☎2991-0308 FAX2991-0309

▶市内で撮影した写真（撮影日・場所・コメント）▶エッセイ次のテーマは『懐かしいもの』▶締切9月6日㈮▶掲載者には記念品を進呈▶文章（300字）は添削あり▶投稿写真・原稿は返却しません▶住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記し〒359-8501広報課「みんなのひろば」係へ郵送または ✉hiroba@city.tokorozawa.saitama.jp